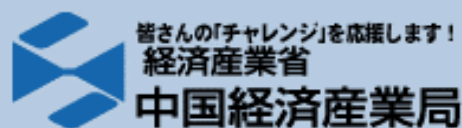


NEWS RELEASE

Chugoku Bureau of Economy, Trade and Industry
http://www.chugoku.meti.go.jp



皆さんの「チャレンジ」を応援します！
経済産業省
中国経済産業局

平成28年2月9日

企画調査課長 藤本 茂文
TEL (082) 224-5633

中国地域専門量販店販売動向 (平成27年速報)

1. 販売額・前年比増減率

ホームセンターの販売額は2,187億円で、前年比▲2.0%と2年ぶりに前年を下回った。
家電大型専門店の販売額は2,251億円で、同▲8.5%と3年ぶりに前年を下回った。
ドラッグストアの販売額は2,676億円で、同7.8%と7年連続で前年を上回った。

販売額、前年比増減率及び店舗数 (単位：億円，%，店)

年	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア		
	販売額	前年比	店舗数	販売額	前年比	店舗数	販売額	前年比	店舗数
H18	2,231	▲0.0	353	2,741	5.0	165	—	—	—
H19	2,246	0.7	357	2,859	4.3	165	—	—	—
H20	2,257	0.5	362	2,934	2.6	167	1,123	—	382
H21	2,271	0.6	370	2,859	▲2.5	165	1,302	15.9	396
H22	2,290	0.8	382	3,233	13.1	163	1,321	1.5	399
H23	2,330	1.8	394	2,707	▲16.3	168	1,395	5.6	415
H24	2,269	▲2.7	406	2,310	▲14.7	176	1,463	4.9	437
H25	2,235	▲1.4	417	2,326	0.7	167	1,527	4.4	458
H26	2,231	(4.1)	404	2,460	(0.3)	165	2,482	(10.1)	651
H27	2,187	▲2.0	409	2,251	▲8.5	161	2,676	7.8	685

注1：平成19年以前のホームセンター及び家電量販店の数値については、(財)経済産業調査会中国支局が公表していた民間統計調査を接続しています。

注2：平成26年の前年比は、新旧統計調査における同一事業所の前年比とします。そのため、表中の販売額から算出された値とは異なります。

★★27年のうごき・一口メモ★★

【ホームセンター】4月以降は話題の健康器具やフライパンの売れ行きが良く、紙製品などの日用消耗品や家庭用品の販売が増加した。また、天候の良い月は、バーベキュー関連のレジャー用品や園芸関係も好調だった。一方、天候の影響により、夏は扇風機、日よけなど、冬は灯油、ファンヒーター、ホットカーペットなどの季節商品の販売が低調だった。

【家電大型専門店】前年のOSサポート終了に伴う買い替え需要の影響により、パソコンの販売が苦戦したほか、夏場の天候不順と暖冬の影響により、エアコンの販売が低調に推移した。一方、4月以降は、高機能タイプの炊飯器、4Kテレビ、冷蔵庫、洗濯機などの販売が好調だった。

【ドラッグストア】年初はインフルエンザの流行もあり、総合感冒薬やうがい薬、マスクなどの販売が好調だった。また、花粉の影響により鼻炎薬にも良い動きがみられ、サプリメントやダイエット食品、オーラルケア用品のほか、菓子、飲料、酒類、袋入りコーヒーなど食品の売れ行きも良かった。

